

非ホジキンリンパ腫 DA-EPOCH 維持

患者ID: @PATIENTID

1 コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 21日間

目標: 4~8コース

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(m ²)
HEIGHT01_Do	WEIGHT01_Dc	#VALUE!

アルコールアレルギー
※必ず無しを確認

使用薬剤: エトポシド (VP-16): エトポシド点滴静注液 100mg/V/5mL
 ドキソルビシン (ADM): ドキソルビシン塩酸塩注射用 10mg/V、50mg/V
 ビンクリスチン (VCR): ビンクリスチン注 1mg/V
 シクロホスファミド (CPA): シクロホスファミド注 100mg/V、500mg/V
 プレドニゾン (PSL): 20mg/A、10mg/A

注意: ※ Hbc抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
 ※ ビンクリスチン 最大投与量; 2mg/bodyを越えないこと
 ※ プレドニン B型肝炎; 核酸アナログ製剤を併用、糖尿病; 減量もしくは中止
 ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること
 ※ G-CSFをDay6~nadir以降好中球数>5000/ μ Lまで継続

薬剤	投与量	計算値	20%減	20%増	投与量(mg)	投与日
エトポシド	50 mg/m ²	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		1 ~ 4
ドキソルビシン	10 mg/m ²	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		1 ~ 4
ビンクリスチン	0.4 mg/m ²	#VALUE!				1 ~ 4
シクロホスファミド	750 mg/m ²	#VALUE!	#VALUE!	#VALUE!		5
プレドニン	60 mg/m ²	#VALUE!				1 ~ 5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1); 1月1日 (火)

時刻	PICC①	PICC②	薬剤	投与量
0時00分	①		生理食塩液 50mL + グラニセロン 1A + プレドニン	0mg
15分で点滴静注				
0時15分	②		生理食塩液 500mL + エトポシド + ドキソルビシン注 + ビンクリスチン注	0mg 0.0mg 0.00mg
中心静脈ルートより輸液ポンプを使用し24時間				

開始日 (Day2~4); 1月2日 (水) ~ 1月4日 (金)

時刻	PICC①	PICC②	薬剤	投与量
0時00分		①	生理食塩液 50mL + グラニセロン 1A + プレドニン	0mg
15分で点滴静注				
0時15分	②		生理食塩液 500mL + エトポシド + ドキソルビシン注 + ビンクリスチン注	0mg 0.0mg 0.00mg
中心静脈ルートより輸液ポンプを使用し24時間				

Day 5 1月5日 (土)

時刻	PICC①	PICC②	薬剤	投与量
0時15分	①		生理食塩液 50mL + グラニセロン 1A + プレドニン	0mg
15分で点滴静注				
0時30分	②		生理食塩液 250mL + シクロホスファミド	0mg
30分で点滴静注				
1時00分	③		生理食塩液 50mL	
フラッシュ				

REFERENCE

Wyndham H. Wilson, Michael L. Grossbard, Stefania Pittaluga, et al BLOOD, 2002; 99: 2685-2693
 Dose-adjusted EPOCH chemotherapy for untreated large B-cell lymphomas: a pharmacodynamic approach with high efficacy
 Wyndham H. Wilson, George Bryant, Susan Bates, et al J Clin Oncol 11: 1573-1582, 1993
 EPOCH Chemotherapy: Toxicity and Efficacy in Relapsed and Refractory Non-Hodgkin's Lymphoma
 2011年化学療法プロトコル審査委員会承認: 2011年2月14日 更新: 2016年2月8日